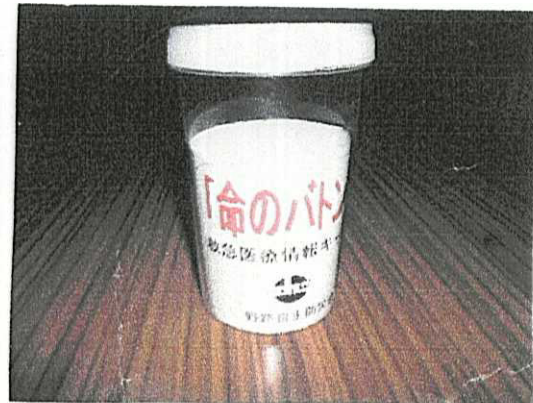


防災ニュース No.10

野路自主防災組織事務局
平成21年11月1日
発行責任者 福井太加雄

～野路自主防災会平成21年度の活動のあゆみ～

- ◎5月19日に自主防災会の総会を開催し年間活動計画を策定し活動をスタートさせた。
- ◎町内消火栓の点検改善を5月10日（日）に女性消防隊・町内消防団員と本年から評議委員・町委員が始めて出動し安全確認の点検を実施しました。
- ◎ 「安全・安心は冷蔵庫の中から」救急医療情報キットの実施をした。（高齢者ら急病時、救急隊に情報伝達）として1人暮らしの高齢者等が急病になった際、救急隊員にかかりつけの医や、持病など確実に知らせるため、野路自主防災会は必要な情報を記したカードをカプセルに入れ、常備する「救急医療情報キット」を要援護者宅に配布しました。ポリエチレン製カプセルにカードを入れ、冷蔵庫に保管し、玄関ドアの内側と冷蔵庫専用シール（のじマーク）を貼って、キットがあることを知らせる方法としました。



防災講習会を開催しました

6月18日（木）新宮会館において、平成21年第1回目の防災講座を69名の参加で「阪神・淡路大震災～その体験を語る」のタイトルで講師に人と防災未来センターの谷川三郎氏の講話を実施しました。

阪神・淡路大震災で被災者対応に携われた体験された講話をしていただき、防災意識の高揚を図りました。



AED（自動体外式除細動器）を設置しました

市民の安全を守るため、昨年に引き続いてAEDを4月9日にコミュニティーセンター前と小野山集会所前に2台設置しました。



野路町わくわくサロンを開催しました

野路町の高齢者が楽しく遊びながら、健康・食事・介護などを話し合う機会を作り、住民同士の交流の場にし、高齢者の身近な憩いの場にする「野路町わくわくサロン」を8月22日（土）に86名の参加のもと開催しました。

滋賀県介護福祉会の村田さんの「高齢者になっても地域で安心して暮らしていくため」のテーマで出前講座を受講したあと、踊り・ゼニ太鼓を観覧した後、健康増進委員・エルダー婦人会・更生保護女性会・日赤奉仕団の役員の皆さんの手作りの健康食を頂いたあと、いきいき百歳体操・カラオケ・江州音頭と楽しい一時を過ごし、明日からの活力を得て、終了しました。



災害図上訓練「DIG」を実施しました

草津市・消防署の指導のもと、8月29日（土）に自主防災会のメンバー50名の参加のもと、災害発生時に、一人でも多くの人命を救うためには、「自分の身は自分で守る」自助や、「地域でお互いに助け合う」共助の取り組みを進めることが重要です。防災意識の高揚と地域防災力の強化にとりくむため、災害図上訓練を実施しました。6グループに分かれ、野路町住宅地図に幅の広い道路や避難所となる広場、危険な河川、食料を得られるスーパーや病院・医院などを書き込む作業を実施し今後の避難訓練等に活用することとしています。

草津市は来年3月に「新しい防災マップ玉川地区版」として全戸配布されます。



湖南消防かわらばんから

秋の火災予防運動

11月9日（月）から15日（日）まで

朝夕、冷え込むようになってきましたね。インフルエンザの流行も気がかりですが、これからの季節は空気が乾燥して火災が起こりやすくなっていますので、ご注意ください。

本年も、みなさんに今一度、火災予防について考えていただきたく、秋の火災予防運動を実施します。身近な『家庭』における防火・安全対策をしましょう。

安全・安心な地域づくりには、自主的な防火活動を積極的にしていただくことが1番の近道です。それにより火災の発生を防止し、死傷事故の発生を防ぎましょう。

これからの時季に使用期間が限定される暖房器具などは、使用前に必ず点検をし、必要に応じて整備をして、安全であることを確認してから使用しましょう。

